

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	25102
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	現代のビジネスA (対人行動の心理学)		
	学問分野	番号	名称
3. 担当教員	立花 知香 (現代ビジネス学部 現代ビジネス学科)		
4. 開講学期	前期 集中		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 8 月 2 日 (水) ~ 平成 29 年 8 月 7 日 (月) 9 時 00 分 ~ 16 時 10 分		
個別開講日	1 回目 8/2	2 回目 8/3	3 回目 8/4
	4 回目 8/7	5 回目 /	6 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	10 回目 /	11 回目 /	12 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /
	16 回目 /		
6. 募集人数	10 人		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>仕事につくということは、多くの場合、企業集団の一員として、様々な人と有機的にかかわり協力しながら働くことになる。企業組織における人間関係に関する理論や研究成果をもとに、対人関係に必要な社会的スキルが何かを考える。</p> <p>授業では、ビジネス上のみならず日常生活でも必要とされる社会的スキルとしてのパフォーマンス(自己表現)能力育成のための演習を適宜取り入れていく。自己のパフォーマンスを見つめ、円滑な人間関係を築くためにはどのようなことが大切なのかを考える。「自己の気づき」から「グループ」や「組織」にいたる、身近で具体的な演習課題を通して、体験的に人間関係づくりを学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション 対人行動の心理学について</li> <li>2. ビジネス活動について</li> <li>3. 企業が求める人材とビジネス実務能力</li> <li>4. 社会的スキルとしてのパフォーマンス能力</li> <li>5. パフォーマンスの構成要素</li> <li>6. 聞き方・話し方</li> <li>7. 言語的パフォーマンス①—具体的に話す</li> <li>8. 言語的パフォーマンス②—3つのレベルと敬語表現</li> <li>9. 非言語的パフォーマンスのはたらき</li> <li>10. わかる一人を理解すること</li> <li>11. 説得する—コンセンサスを得る</li> <li>12. リードする—チームをリードする行動を考える</li> <li>13. ストレス・コーピング① ストレスってなんだ?</li> <li>14. ストレス・コーピング② ストレスを味方エネルギーに</li> <li>15. まとめ</li> </ol>		
8. 受講料	なし		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	2 単位	
	受入学年	高校 2 年生以上	
	試験・評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 小レポート他 (30 点) : 演習時のフィードバックシートなどのレポートは、扱われるテーマについての問題意識を深めるために課題を出し、当該授業内で自分の考えをまとめる。</li> <li>② 試験 (50 点) : 全範囲から出題。持込不可。</li> <li>③ 受講態度 (20 点) : 受講する時のマナーを守り、積極的に演習に参加する。</li> </ol>	
特記事項	科目等履修生の申込のみ受け入れる		
12. 開講条件※1 あり・ない	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 最少開講人数 ( 人)</li> <li>② 不開講通知日 (7月14日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月15日(土)以降の開講科目は6月末まで)</li> </ol>		
12. その他特記事項	(受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献、開講最低人数等、特記すべきこと) 女子に限る。科目等履修生としての申込のみ受け入れる。 資料プリント等は授業で配布します。人間関係づくりについて考え学ぶ授業です。 授業中もそれを意識したパフォーマンスを期待します。		
13. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。